

教育実習生
指導教員 XXXXXXXXXX

1. 実施日時 2024年6月10日(月) 1限
2. 学 級 高校1年
3. 場 所 1年1組教室
4. 教材名 「歴史総合 現代と私たち」(山川出版)
5. 単元名 第2章 国民国家と明治維新 1. 市民革命

6. 教材観
本単元は、アメリカ独立革命やフランス革命、革命後のナポレオンの政治などから、身分が低かった民衆が立ち上がり、権力を持つ組織や集団に立ち向かい、自由と平等を獲得していくことを学ぶ。本教材では、あまり細かい事柄に立ち入りすぎると本筋を見失うため、教科書で取り扱っていない事柄については、説明するうえで必要だと思うもののみ補足して説明を行う。

7. 指導観
中学校までの世界史がどこまで深掘して学習しているか予想がつかないため、適度に認知しているかの確認を取りながら授業を展開する。パワーポイントを用いて、歴史上の人物の紹介や、風刺画、戦争の説明を行う。パワーポイントに適応したプリントも作成し、年代と出来事を見やすくし、情報整理をしやすくした。雑学を交えながら、出来事と出来事のつながりを意識して、なぜ起こったのか、結果どう変わったのかなどを強調して指導していきたい。

8. 生徒観
アメリカ独立革命の学習により、生徒は「市民革命とは基本的人権が保障された国民が、民主主義的な社会を実現させる」という事象だと理解している。中学校でフランス革命は少し触れているが、政治体制の移り変わりや関連する事件などの知識は少ないと思われる。この学級の生徒は、話し合いの際はしっかり問いに対する考えを述べる生徒が多い。挙手する生徒は少ないため、授業ではペアワークを用いて意見を交流させ、他者の意見との相違を確認させ、発表でも発言できるように支援する。

9. 単元の指導計画(全3時間)

- ①市民革命
1. アメリカ独立革命・・・1時間
 2. フランス革命・・・1時間(本時)
 3. ナポレオンの帝国と市民革命の世界的衝撃・・・1時間

10. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・フランス革命における政治体制および議会の変遷を理解する。
- ・革命を通して、フランス革命前の身分制社会から、主権者である国民として統合される社会に変化したことを理解する。

(2) 学習過程

	学習内容	学習活動 説 説明 問 問い	指導上の留意点
導入 5分	○フランスについての簡単な質問から、ヴェルサイユ宮殿や王家の肖像画を見ることによって、フランス革命の時代のイメージをつかむ。	<p>問1 「フランスって言われたら何を思い浮かべますか？」 生徒) フランスパン・エッフェル塔</p> <p>問2 「ヴェルサイユ宮殿は何円かけて造られたと思いますか。」 生徒) 20億、100億、1兆 正解) 約2兆円</p> <p>問3 「ルイ16世とマリー・アントワネットを知っている人はいますか。」</p>	<p>※問いに対する話し合いはペアワークで行う。</p> <p>・フランスについてどれほどの知識を持っているか、ルイ16世とマリー・アントワネットを知っているかを確認する。</p> <p>・王族の浪費が財政難になったことに繋げる</p> <p>・この授業を受ける中で、彼らがどのような人生を送ったのか考えながら学習してほしいことを伝える。</p>
展開 ① 20分	<p>【身分制社会の理解】</p> <p>○身分制社会 風刺画の特徴と、説明から身分制社会を理解する。</p> <p>○財政難 フランスの財政難が王族の暮らしや、戦争の費用により起こったことを学習する。</p> <p>【革命の開始】</p> <p>○三部会 第三身分の議員による独立により国民議会が誕生したことを学習する。</p> <p>○バスティーユ牢獄襲撃事件 初めて第三身分の民衆が立ち上がり抵抗したことを学習する。</p>	<p>問4 「風刺画①から、どんな様子が分かりますか？」 生徒) 1人が2人をおんぶしている。</p> <p>説 身分制社会とは、第一身分と第二身分、第三身分からなる社会のことである。</p> <p>問5 「風刺画②の岩は何を表しているでしょう。」 生徒) 税金</p> <p>説 初めに出てきたヴェルサイユ宮殿の建設などの王族の浪費ぶりと、アメリカ独立戦争への参戦によりさらに財政難になった。</p> <p>説 三部会の多数決は、一身分一票の制度で行われていた。</p> <p>説 第三身分が独立しておこした議会が国民議会という。</p> <p>説 武器を確保するために襲撃した。</p>	<p>・パワーポイントを用いて、風刺画を提示し、注目させる。</p> <p>・身分制社会の説明は、図や数値を使いながら説明する。</p> <p>・身分制社会の説明と関連することを強調し、答えに導く。</p> <p>・財政難により、第一身分と第二身分への課税を進めたことを強調する。</p> <p>・第一身分と第二身分の一部が第三身分の動きを弾圧しようとした流れを補足する。</p>

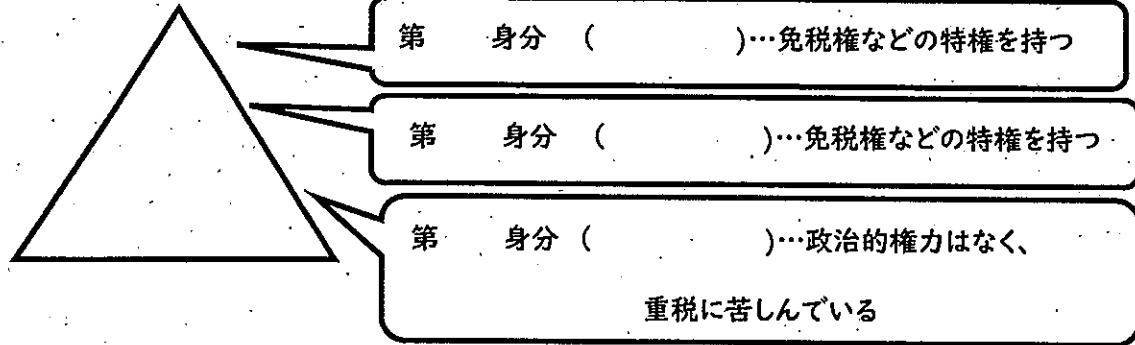
<p>② 20分</p> <p>○人権宣言 基本的人権・国民主権・所有権が保障されたことを学習する。</p> <p>【立憲君主政の成立】 ○ヴェルサイユ行進とヴァレンヌ逃亡事件 王族と市民の革命に対する意識の違いやずれを理解する。</p> <p>○立法議会の成立 1791年憲法が制定され、絶対王政から立憲君主政が変わったことを理解する。</p> <p>【革命戦争】 ○オーストリアとの戦争 ヨーロッパの周辺諸国が革命が自国に広まらないようにフランスに攻め入ったことを理解する。</p>	<p>問6 「風刺画③を見たことある人はいですか？」 「風刺画①②と比べてどのように変わりましたか？」 生徒) 武器を握っている 左側二人が驚いている</p> <p>問7 「教科書p42の人権宣言を見てください。1・3・17を読み、どのような内容が書いてあるか確認しましょう。」</p> <p>説 基本的人権・国民主権・所有権の柱をたてて説明する。</p> <p>説 パリ市民の多くの女性がヴェルサイユ宮殿に押し寄せた。</p> <p>問8 「もしどうしても逃げないといけなくなったとき、何を持っていくますか？」 生徒) 水、食料、お金、スマホ</p> <p>説 ルイ16世らは、ワインやドレスなど多くの荷物を持って逃亡したため、目立ってしまいヴァレンヌで捕まった。</p> <p>説 王権が憲法によって制限される体制である立憲君主政が始まった。立法議会は国民の中から選挙によって議員が選ばれた。ただし制限選挙であった。</p> <p>問9 「もし自分が周辺諸国の第三身分だったら、フランス革命を見てどう思いますか？」 生徒) 自分たちも革命を起こせるのではないか。</p> <p>説 周辺諸国の君主は自分の国の人々が革命を起こすことを恐れ、革命が広まらないようにフランスを攻撃した。</p>	<p>・風刺画①②では身動きができていなかった第三身分が、風刺画③では鎖をはずし武器を持ちながら立ち上がろうとしていることを補足する。</p> <p>・資料がどこに書いてあるかをしっかり全員に伝わるように何回かアナウンスする。</p> <p>・特に所有権については、生徒を巻き込み、例え話を用いて説明する。</p> <p>・ルイ16世とマリー・アントワネットがパリに連行されたことを忘れず伝える。 ・荷物が多かったため、目立ってしまい捕まった事を伝える。加えて、なぜルイ16世一家がヴァレンヌで捕まったのかを伝える。 ・王族の暮らしぶりが伝わるように生徒の回答を活かして説明する。</p>
		<p>3=マルセイーズ</p>

	<p>【共和政の成立】 ○共和政と国民公会の誕生 君主政そのものが廃止され、国民の代表が元首となる共和政が成立したことを理解する。</p> <p>○ロベスピエールの改革 幅広い基本的人権を保障する憲法の作成などの革命政策を進めたことを理解する。加えて、反対派への過激な対応(恐怖政治)により支持を失ったことも学習する。</p> <p>【その後の政治】 ○総裁政府の体制と、ナポレオンの登場について知る。</p>	<p>説 男性普通選挙により国民公会が誕生した。立憲君主政とは異なり、国王が権利を持たず、国民の代表が話し合いをして物事を決めていく共和政が成立した。</p> <p>説 自由、平等だけでなく、教育や労働などの広い範囲の基本的人権を保障する1793年憲法の成立を進めた。しかし急激に改革を進める上で反対派の人々を処刑する恐怖政治を行い、人々の支持を失った。</p> <p>問10 「ナポレオンを見たことある人いますか？」</p>	<p>・立憲君主政と共和政の違いについて、憲法と議会の備えている点では同じだが、共和政では世襲の君主そのものが廃止されている点を説明し、区別しやすくする。</p> <p>・ロベスピエールの政治の革命的な部分と、独裁的な部分の説明をする。ルイ16世とマリー・アントワネットの処刑についても紹介する。</p> <p>・写真を用いて簡単に国民公会後フランス社会の流れを説明する。</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>(振り返り) フランス革命における政治体制の移り変わりを復習する。</p>	<p>問10 「<input type="text"/>に入る議会の名前は何でしょうか？」</p>	<p>・絶対王政、立憲君主政、共和政の違いを再度説明し、議会の名前を生徒に問いながら確認を行う。</p>

【フランス革命】 (教科書 p41-43)

<革命前のフランス>

1) 『 』



2) 財政難⇒王族の贅沢な暮らし・戦争の戦費・アメリカ独立戦争への出兵などが要因だった

*この頃の王はルイ16世で、王妃はマリーアントワネット

<国民議会の誕生>

1789年5月 () : 第一身分・第二身分・第三身分の代表が集まる身分制議会

しかし、身分対立により () がつくられた。

1789年7月14日 ()

★パリ市民が武器を確保するためにおこした事件

事件を経て... 8月 国民議会⇒()を廃止
→()を発表

『人権宣言』⇒“人は生まれながらにして自由で平等な権利を持つ”

[]、[]、[]の考え方を広めた

- ・ヴェルサイユ行進→食糧に困っていたパリの女性たちが宮殿に押し寄せた
- ・ヴァレンヌ逃亡事件→ルイ16世一家はオーストリア領へ逃亡を企てた。

<立法議会の誕生>

制限選挙と憲法で権力を制限する

1791年9月 ()を特徴とする憲法()を定め、
()が誕生した。

1792年 ()との戦争→義勇兵の活躍・祖国の危機を呼びかけた
8月 民衆・義勇兵らが王宮を襲撃→王権停止

<国民公会の誕生>

男性普通選挙により () が成立された。

()の成立→王権がなく、国民の中から代表を選び政治を行っていく体制


- ・国民公会では、()が主導となって行っていた
- ・ルイ16世の処刑が行われた

基本的人権を保障する()
の成立を目指したが、独裁政治となってしまったため、逮捕された(1794)。



(思う・思わない)


フランス革命



ヴェルサイユ宮殿

2兆円

東京ドーム220個分
建設に20年



<革命前のフランス>


この風刺画から分かることを挙げてみよう

(例)

- ・1人が2人をおんぶしている。
- ・おんぶをしてる人の服が破れている。
- ・後ろに乗っている人は剣を持っている。
- ・前に乗っている人は首から十字架をかけている。




『身分制社会』



- 第一身分(聖職者) ... 免税権などの特権を持つ
- 第二身分(貴族) ... 免税権などの特権を持つ
- 第三身分(平民) ... 政治的権利がなく重税に苦しんでいる

ルイ16世



マリーアントワネット

ルイ16世

彼らはフランス革命によって、どのような人生を送ったのだろう



マリーアントワネット

第一身分

第二身分

第三身分



風刺画② この絵の岩は何を表している？

ここ



革命前のフランス社会

この風刺画から分かることを挙げてみよう




風刺画② この絵の岩は何を表している？

ここ

A.税金




財政難

【原因】

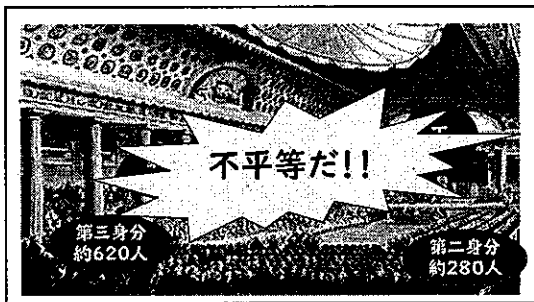
- ・王族の贅沢な暮らし
- ・戦争の戦費
- ・アメリカ独立戦争への出兵

ルイ16世

第一身分と第二身分からもお金を取ろう！



<国民議会の誕生>
 1789年5月 三部会：第一身分・第二身分・第三身分の代表が集まる身分制議会



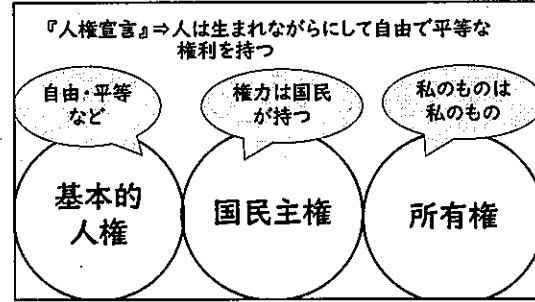
事件を経て…

国民議会 → 封建的特権を廃止
 → 人権宣言を発表

<国民議会の誕生>
 第三身分(平民グループ)が独立して会議を起こす

第一身分と第二身分は国民議会を弾圧しようとしていた。
 そこで、第三身分の人たちは、武器を持っている正規軍に対抗できるように…

1. 人は、自由、かつ、権利において平等であるとして生まれ、生活する。社会的権利は、人間の自然にもとづくものでなければ、認められない。
 2. あるゆるぎなき目的は、人の、権利によって保障することのない自然の権利の侵害にある。これらの権利とは、自由、所有、安全および抗暴(反抗)への権利である。
 3. あるゆるぎなき権利は、本質的に国民にある。いかなる団体、いかなる個人も、国民がこれを認めない限り行使することはできない。
 4. 自由とは、個人を害しないすべてのことをしうることにあり、したがって、個人の自由の制限の目的は、社会の利益の保護に個人が同一の義務の受命を課せらるることを除外するにあり、これらの区別は、法律によるなければならぬ。
 5. 国家および国民の自由は、人々の最も貴重で権利の1つである。したがって、すべての法律は、法律制定の場合にも自由の運用について責任を負うには、自由だ、即ち、押し、罰することである。
 6. 所有は、個人が不可侵の権利であり、個人も、法律に課せられた義務が明白にそれを要求する場合で、かつ、正当かつ確固の権利をもち得れば、これを奪はれない。
(1789年7月14日 国民議会の宣言)



バスティーユ牢獄(襲撃事件)1789年7月14日

★パリの第三身分が武器を確保するために起こした

<ヴェルサイユ行進>
 →ヴェルサイユ宮殿に女性たちが押し寄せた事件

<ヴァレンヌ逃亡事件>
 パリ市民の監視下による生活

ギリギリのところで捕まる

ルイ16世とその一家はオーストリアへの逃亡を試みるがヴァレンヌで捕まる。
 皆ならどうしても逃げないといけないとき何を持っていく?

こうした事件がありながら、その裏では国民議会は新しい憲法を作成していた

<立法議会の誕生> 王様といえども憲法に従う

1791年 9月
立憲君主政を特徴とする憲法1791年憲法を定め、
立法議会が誕生した

国民の代表によって構成され、立法権を有していた



<国民公会の誕生> 国民公会に待ってました!

男性普通選挙により**国民公会**が成立する

共和政の成立
→王の権利がなく、国民の中から代表を選び政治を行う体制

もし自分が周りの国の平民(第三身分)だったらフランスの平民を見てどう思う?

<他国との戦争>

オーストリアと戦争(1792年)

連戦連敗...

<国民公会の誕生> **ロベスピエール**

基本的人権を保障する1793年憲法の成立を目指した



<他国との戦争>

オーストリアと戦争(1792年)

連戦連敗

祖国の危機だ!!!


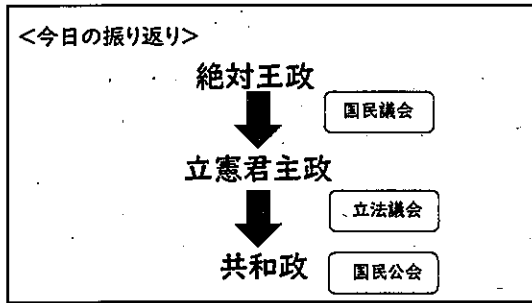
義勇兵...自発的な志願兵
ラ=マルセイエーズの誕生

MARCHE DES MARSÉILLAIS

総裁政府


リーダーが5人

ナポレオンボナパルト



ルイ16世

- ・国外逃亡を試みた
- ・処刑(ギロチン)によって亡くなる
- ・アメリカ独立戦争の支援をした



マリーアントワネット

- ・オーストリア王家に生まれる
- ・14歳の頃にルイ16世と結婚する
- ・フランス革命の際にギロチンにかけられた

考えてみてね!

マリーアントワネットは「悪女」なのだろうか?